

国立大学法人島根大学役員会（第430回）〈議事要録〉

日時 令和8年1月27日（火） 14:00 ～ 15:15
場所 本部棟5階 大会議室（TEAMS 利用）
出席者 大谷学長、増永理事、松崎理事、金山理事、椎名理事、大川理事、宮脇理事
オブザーバー 吉田監事、栗原監事
欠席者 上野理事
〔陪席：企画部長、研究・地方創生部長、教育・学生支援部長、総務部長、
財務部長、松江地区学部等事務部長、医学部事務部長、監査室長事務取扱〕

議決事項1 第4期中期目標・中期計画の変更について

- 増永理事から資料に基づき、第4期中期目標・中期計画の変更について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項2 教員業績評価に関する規程等の一部改正について

- 増永理事から資料に基づき、教員業績評価に関する規程等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項3 先端マテリアル研究開発協創機構規則の一部改正について

- 学長から資料に基づき、先端マテリアル研究開発協創機構規則の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

報告事項2 令和8年度運営費交付金等予定額の概要について

議決事項4 令和7年度補正予算（第1号）（案）について

- 大川理事から資料に基づき、令和8年度運営費交付金等予定額の概要について報告があり、続けて令和7年度補正予算（第1号）（案）について説明があった。
- 栗原監事から、補正予算を受けた今年度の収支見込みと来年度予算の評価について質問があった。大川理事から、今年度の収支は、補正予算の増額等により全体としては黒字になる見込みであること、及び来年度に向けては目的積立金の活用等により、運営面で大きな問題は生じない見通しであるとの回答があった。続けて学長から、国が大学の基盤的経費を認める方向に変わりつつあることから、大学自身が改革や努力を示し、この流れを維持する必要があるとの発言があった。
- 吉田監事から、人事院勧告への対応について質問があり、大川理事から、詳細については改めて役員会に提案するとの回答があった。
- 審議の結果、原案どおり議決された。

協議事項1 定期モニタリングの実施について（ハラスメント防止体制）

- 金山理事から資料に基づき、定期モニタリングの実施について（ハラスメント防止体制）説明があった。

報告事項1 附属病院運営状況について

- 椎名理事から資料に基づき、附属病院運営状況について報告があった。

報告事項3 国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰り越しに係る承認について

- 大川理事から資料に基づき、国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰り越しに係る承認について報告があった。

る承認について報告があった。

報告事項4 ネーミングライツ事業に係る命名権者の決定について

- 大川理事から資料に基づき、ネーミングライツ事業に係る命名権者の決定について報告があった。

報告事項5 リスクの評価結果について

- リスク管理委員会委員長（総務部長）から資料に基づき、リスクの評価結果について報告があった。

報告事項6 令和8年度役員会等の開催日について

- 資料に基づき、書面による報告があった。

報告事項7 全学委員会の議事報告について

- 資料に基づき、書面による報告があった。